三才雑録

1000
3

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

ガラス使用

特1000
3

三才雜録巻之十九全

目次

將軍家御刀御脇指帳之略
安永九御轉任之式
大坂篭城浪士之姓名
清水放生會式文
菊三番叟
ちとるれろの歌
輪王寺御門主代々
御管諸御局小傳

朽木文庫
飛田文庫

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

家綱公御宮參御行烈
泉涌寺泉芙和尚小傳
世田谷吉良代ゝ
勅撰ニ入異名ノ女
撰集ニ入武家姓名

○本行弥家名物帳
公儀御物并記之
享保書上

原
藤四郎　銘有長七寸二分　重四分
京都將軍家ノ御代金五百枚
アリ後黒田如水所持秀次公へ上ル秀吉公
へ上ル毛利秀元拝領、綱元ヨリ　將軍家
へ上ル金千枚拝領

朝倉藤四郎　銘有　長七寸九分　代金百枚
越前朝倉義景所持故申傳ル
鍋鳴藤四郎　銘有　長七寸五分　代三千貫

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

鍋島加賀守所持申傳ル松平相摸守陸奥ノ前上ル

朱銘藤四郎　朱銘　長八寸　代金三百枚
表裏護摩著有之

會津正宗　磨上　長二尺一寸二分　無代
蒲生氏々所持故申傳ル表裏樋有之秀行
権現様へ上ル尾張へ下進　台徳公へ上ル

本庄正宗　磨上　長二尺一寸五分半　無代
本庄越前守所持后秀次公又島津兵庫

又
トナル

権現様へ上ル紀州へ下進后又市物

早川正宗　象眼銘　長二尺三寸七分
代金二百五十枚
伐野臣早川傳右エ門所持表裏樋有之

一竿正宗　無銘　長八寸二分　代金百五十枚
大和大納言内横濵一竿法印所持井伊掃部
又ヨリ上ル

武蔵正宗　磨上　長二尺四分
代金二百五十枚
宮本武蔵所持ト申傳ル又ハ江戸ニテ紀州

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

ガラス使用

孫ヨリ出ル中務小
小世正宗 名銘 長一尺二分半
代金百五十枚
本多美濃守京都小通ニテ求延宝七年ニ
中務太輔遺物ニ上ル
観世正宗 磨上 長二尺一寸三分
代金三百五十枚
観世宗雪ヲ持被召上森正宝ト云表裏
樋中心表剣梵字倶利加羅 元禄
十年十二月十二日 午成ノ時甲府様拝領
遠意正宗 無銘 長八寸七分
代金二百枚

又中務正宗 元本多中務太輔 栄名在城ノ
時ヲ持度申侍ル中心表本多中務ヲ持裏
二本門弥判象眼ニ入
若狭正宗 磨上 長二尺二分 代金千枚
元若狭ヲ将勝後ヲ持後世田三左エ門ニ玉ワ
伊予守防府ノ時 家綱公上ル
宗瑞正宗 無銘 長八寸二分 代金百五十枚
中納言宗瑞ヲ持表剣裏棒樋並添樋有之
金森正宗 無銘 長八寸三分 代金三百枚
金森法下ヲ持後召上 又土井利勝ニ玉ワ後
家綱公ヘ上ル徳松様ヘ防進

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

前田二宗 無銘 長九寸五分 代七千貫
肥前利長所持大久保相州ヘ遣ス井伊掃部頭ヘ因リ遣物ニ上ル表梵字二ツ裏ニマハシ有
鍋島江磨上 長二尺二寸二分 代七千貫
鍋島加賀守所持后上ル又尾張ヘ寛永十三九月廿一日御成ノ時上ル慶安四二月十四日徳松様御拝令
五月雨江磨上 長二尺三寸 代金二百五十枚
相極ル此サヲキナル故ニ名有里田ヨリ上ル又利光尾張千代姫様ヘ為形上ル
中川江磨上 長二尺二寸二分 代金二百五十枚

中川八郎右エ門トシテ所持
亀甲貞宗 磨上 長二尺三寸四分 代金二百枚
中心裏ニ亀甲ノ彫有ニ表裏ニ入シ樋在リ
切刃貞宗 磨上 長二尺三寸二分半
代金百五十枚
切刃故申傳ハ表樋添樋アリ裏切リ樋ノ下ニ梵字劔在之
三日月宗近 銘有 長二尺四分半 無代
ハキ表中ホトヨリ上ニ三日月ノ様ナルウチノチ又有之故名分山中庵之助所持之由高安院ノ遺物トシテ上ル

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

新身来国俊　銘有　長一尺、七寸　代金二百枚
恰好大造ナル故ニ名刀保科肥後守遺物ニ上ル
表裏樋在之

上部當麻　長八寸三分半　代九十貫、
粟山伊賀守所持　後、粟山當麻　共ニ十小
鎚切長光　銘有　長一尺、九寸九分　代金五百貫、
カ、ヲヤニヨリ名付ケ小
長左文字　象眼銘　長二尺、二寸四分　代金二百枚
長九郎左エ門所持　後名刀小中心裏ニ左磨
上ケ徳利象眼入

會津新藤五国光　銘アリ　長八寸四分　代金二百枚
蒲生飛弾守所持　後、
堺志津　銘アリ　長九寸五分半　代千貫
泉州堺ヨリ出
是ヨリ以下焼失ノ分
骨喰藤四郎　無銘　長一尺、九寸二分
大友ノ重代
大坂新身後四郎
江戸新身後四郎
長岡後四郎

長九寸三分
同九寸五分
同八寸二分半

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3
ガラス使用

塩川　　四寸
親子　　四寸
庖丁　　四寸
車石　　四寸
豊後　　四寸
樋口　　四寸
木森　　四寸
米沢　　四寸
凌雲　　四寸
鯰尾　　四寸

此外都テ七十八腰

同　八寸
同　七寸四分
同　八寸二分
同　八寸二分
同　九寸二分
同　八寸
同　八寸二分
同　八寸七分
同　八寸八分
同一尺二寸八分

三才雑録

此外在之記
安永九年　月　日
右之通相違無之候
以上
　　門

先刀甲斐守
秋月壱岐守
杉平近江守
相良志摩守

国立国会図書館　　三才雑録　特1000-3

ガラス使用

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

ガラス使用

禁裏ヲ

水戸ヲ同録ヲ　黄屋ヲ武教

仙洞ヲ　同
女院ヲ
新院ヲ　准后ヲ
水戸ヲ同録　同
同

水戸ヲ　二行一字
同録ヲ　同
同録ヲ
水戸ヲ准后及将軍
ヲ像ヲ称ヲ及同
奏ヲ水戸ヲ及同

古今人元亀中限天正年代使
用為手控而後ニ清書ヲ成ス
歟ト云々

進ト呼ヒ退ト云次副使書記
官員覧筆ヲ以下西帰ノ節ニ
ハ朝士外記ト称ス

第五ヲ市縁ト称ス

頂戴退ト

水戸ヲ　市祝ヲ及

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

ガラス使用

同
同
同
同
同
同
同
市ヶ谷ノ原
市ヶ谷ノ原
同

一条右大臣殿　同
関院宮
有栖川殿
伏見ノ宮
聖護院宮
仁和ノ寺
青蓮院殿
智恩院殿
一条院殿
妙法院殿

同
右　門同見ル事故
勘錠ノ事
右ノ事故指免ス
自刎シ申ス
市ヶ谷ノ原
一
一

大覚寺ノ跡　同
勘錠ノ事
右當門ノ
市ヶ谷ノ原
同
泉涌寺ノ事

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3
ガラス使用

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

ガラス使用

右同断　神田兜町
院出門　市正院使
右門前
右市司兜町
市人ノ内ニ
右ニ付テノ
解縄一把
市柵一前
同由良信階
市柵一前
同前田伊豆
右ニ通　所々ノ
市役士良左京

同様に
院使
院使
院使

栗橋
関に

年始之有
源頼朝
征夷大将軍
宣旨
源頼家
征夷大将軍
宣旨
源実朝
征夷大将軍
宣旨
源頼経
征夷大将軍
宣旨
年始之有

右同断

久我大納言

油小路前右大将

月

源頼家
征夷大将軍
宣旨
源頼朝
征夷大将軍
宣旨
年始之有

源実朝
征夷大将軍
宣旨

高辻中納言

柳原前大納言

高倉大蔵卿

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

ガラス使用

同

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

ガラス使用

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

ガラス使用

慶長十九年大坂籠城之侍士
照代日記

大谷大学吉成吉隆ノ
村成常仁長束正
家ノ
南條中務元明ノ
赤村治一左衛門秀望伊東
石川掃部頭明
重臣千二仲義春
毛利河内守長教二
代目

南下山城頼徳同二ノ
平塚作介同悴ノ
真田左衛門佐幸村西尾
ノ
石川紀伊守ノ執事

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

ガラス使用

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

ガラス使用

供奉神人等之文名而整行列之
次笏
次惣官祠著座内廂向北
以東為上
次御殿司神官 倍別當
神主
挍知
參向二殿
次倍別當進神前申祝詞
次訖退限而乱声一節 細音声

次二位候挍枝之前申可奉寄於 御鳳輦大床 他姓二位 大祢宜十祈宣
曲
次奉寄於 御鳳輦大床 他姓二位 大祢宜十祈宣
次於御内殿神祕 北門 脩燈
御鳳輦御鈕 左他姓
右二位
御符大祢宜
次神幸 通路自南門経大坂到
猪鼻路次慶雲楽
行列之次第
次巡挍使二人次長陳衆 世二人
左右火燈陳衆

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

世二人　左右　御前拂　廿四人　左右　大御鉾一本　廿四人　左右　御
袖幡一人　御榊持七人　三人者立前四人者立後　童子三人
一行　御唐櫃八合　預祢宜　御香炉　御如意　御
三衣　御錫杖　東物従僧四口持之　入寺　御殿司　御幣
小祢宜　獅子二頭　左右　駒形四口　各左右　杯邑楽人
奏慶雲楽　左右　御鋼長二人　左右　御鋼引　前後廿四人　駕
輿丁長二人　左右　駕輿丁前後十二人　御鳳輦
次副二人　左右　両覆一人　御翳一人　御劔　他姓
麻子一人　軸一人　御

太刀二位　御弓　大祢宜　俗別當　二位　他姓　大祢宜
預祢宜　威儀　御馬　轅左右　二人　御馬副一人　御
鋼長　御鋼引　前後十二人　左右
輿丁　前後十二人　左右　二ノ御鼎
御床子一人　軸一人　両覆一人　翳一人　御劔
大祢宜　神主　小祢宜　大祢宜　駒形　他姓
馬轅二人　左右　御馬副一人　御
前後左右　廿四人　駕輿丁長　御鋼長　御鋼引
駕輿丁　前後十二人

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

ガラス使用

三ノ御鳳輦分副 二人 西渡一人 載一人
御劔 左右 小床子一人 脇一人
駒形 頓称宣 御弓 弓 検知 十称宣
一人 神楽座二人 相撲 大称宣
一人 宮大二一人 香花 廿四人 三松 十人 御馬 左右 御馬副
宿者 五十人 頓称宣 一人 鏡鐙
一下院行事
先上々以下参着極楽寺礼堂座
次惣官祠官 経関通 着座于宿院南門

西廻廊
次入御於舘屋殿 僧俗神人未詔座里神
楽奏之
次惣官祠官参向于御迎上﨟前
次上々以下参列舘屋殿
次惣官祠官進 御鳳輦之御前奉行
楽賀王恩
次惣官祠官神拝畢退下﨟前 三列宿院
回廊南門之西
次従舘屋殿 神楽一負之作法 楽人慶 楽上卿
以下前行而列三舞 臺乾 北上 東西

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3
ガラス使用

次侍鳳輦從詣左殿退
惣官祠官警蹕
次侍殿司神官作頓大床
次奉寧氏鳳輦於大
次侍内殿神祕
次神宝奉納侍殿水入氏已前納之
諸座人士各退出
次惣官祠官着座廊南門之面
向北以東為上所司未
隨之

次舁出御鳳輦奉居
次惣官祠官進舞臺礼拜祝詞
次神官検知從御供
供從人隨出他姓二位供所出進于神前
大小祢宜

楽 十天楽

次神供侍膳氏職盤 兵水岡臺
次造花十二臺
松鳩 ツヽシ
梅萬年 金銭花
楊蝶 槿
棠 牡丹 蜻蛉 石竹

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

ガラス使用

杜若 鳴 長春 蓮 菟 房
橘 メノ 秋剪 産 水仙 雉 ウサキ カンキノ 菜 芦 竹 鳳凰 山茶花 南天 菊 鉄仙 ツル 紅葉 庵 桔梗

樂菩薩

次官幣 俗別當 祢宜三人 之
次祝詞 神主 祢宜
次招于三変 上々以下應之
次龍蹄二匹 左陳於舞臺三匹 左右馬寮共

廻

次樂 胡飲酒
次従殿下御馬輦之
次神供奉幣
次徹神供

樂武德樂

検知

次高良社備神供
次僧座之行事
次喪僧着座 舞臺之左右
次導師呪願師登高座 礼拝之時

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

ガラス使用

元僧惣礼

樂陪胡子

次堂童子俗官曳華蓋

次唄二口參舞臺向注礼之前開政座

具瓮音

次定姓二口行唄師前開政座具礼拜三

度取火舍三唄畢唄師二口定座二口

還本座

次散華二口參舞臺而立列於散華

師前

次行道

次獅子次樂行事次樂人次元僧注舞

毫中央左右分行 乐鳥 三迴於頓宮

畢還本座

次樂迦陵頻 急

次讃衆四口參舞臺 陵舞音畢打

銚鉦

次樂春鶯囀 諷誦

次梵音衆二口參舞臺 供養

次樂廻盃乐

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

ガラス使用

次錫杖衆二口參舞處供養
次樂羅陵王
次令往堂達
次導師表白放生
放魚於庭上放鳥
次最勝王往轉讀
次神宝之御樂器三管自預宮内殿
奉出之
次所司兼官昇殿取整於三管 三管名盛
蓋笛管 授神宝預祢宜

次神宝預祢宜往舞臺進樂
次樂人降自樂屋乎取之
次取三管進舞臺
次敕樂四度
萬歳樂
賀殿
退出音声
次宣命神主拜受而奉供宝殿
次還幸 自宿院南門往猪鼻大坂直入
本宮路次還城樂

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

次拍手 再拍手 三拍手 各再拝 次神主
奉安如初 次撤饌 次闔扉 次祝官祝詞
次撤官祝官供奉 次祝官祝詞 次撤官祝官
次神宝動鈴 次祝詞 次撤官祝官

次風補　入寺

十二日
先於御本宮奉献神供
次若宮社若宮殿備神供
次於放生所放生供養之社僧主行之
卯佛　三百六十
妙塔　同
灌頂流　四十九本
次土

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3
ガラス使用

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

ガラス使用

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

ガラス使用

他の義い甲
をつゝき清
さゝゝさゝ
の日の名を
の水まいた
おれ目あき
んいう天た
表辛

風土記の序
形務所
お主よの義も
おもよれ義も
義もゝ
千秋万歳の春
一まんぜいよう万歳

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

ガラス使用

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

ガラス使用

（左）
おもてうち
ちの春風朝の
はるよりさくや
ちりもうれまも
もえもやや
ちちのかよくみ
のまろまのこの
ちんせいの錦

（右）
（ソセイイ）
掛て天の
夫十遂家
秋の郭公
同二九

（左）
おもてうち
ちんせうの花の錦
しき秋のむら〳〵
ちうのんの花のも
うまくのはしてて
ちん事の花ゝあやま
ちいつせむ兵秋萩
むらくてきく
ちの春風
もかへるさくら

（右）
主家

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

ガラス使用

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

ガラス使用

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

ガラス使用

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

ガラス使用

[illegible]を[illegible]めて[illegible]
比の春の日影よ
[illegible]
[illegible]
[illegible]

東叡山輪王寺門主代々

天海大僧正

將軍保義公子母芦名盛高女
永正七年生又義澄逝去後子母共如
會律男外祖氏称平姓号南光坊因
神大君依御敕依常侍左右寛永二年
東叡山御建立使天海為住職同十
卅九年十月二日寂年百三十三謚慈眼大

一云奥州大沼郡高田人舟木氏承徳
年中入同郡龍興寺后住台嶺南光
坊今按自承徳至寛永未九
二百年也甲越記作百八十ト

第二世

公海大僧正　准三后　号久遠寿院

花山院左府定熙孫従四上左少將
忠長子九條関白幸家准后養長
十二下末生昆沙門堂二世寛文年

中始有門跡号依居後号之遠寿院
元禄八年七月十二日寂年八十九
葬寛永寺

第三世

公辨法親王 貴宮一品准三后
後西院第二宮 母二條局 寛文九年
八月廿一日生 延宝二年五月 親王宣下 名秀憲 廿二日出家元
月親王 禄三年三月廿九日入輪王寺 十二日出家元
禄三年三月廿九日陞一品 同六年四月廿二日薨年

四十八号大明院

第四世

公寛法親王 名有定一品准后
東山院第三宮 母春日局 生宝永五年二月廿
元禄十年二月十一日入室円満院同八月廿日為親王十
一月廿八日得度 三年十二月十八日
公辨為附弟同四年三月四日移隠賀
院同十三日入輪王寺同五月叙二品五
年五月廿日入職享保二年三月廿

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3
ガラス使用

廿日一品同三年任座主同十二年五月
七日再任八月廿七日准三后十月廿七日
辞之元文三年三月九日隠居号業保
院同三月十六日薨年四十二

茅土世

公尊 法親王 中御門二皇子母准典侍
享保七年正月三日生同八月廿七日
公寛為附弟同十五年十二月十二日
為親王九月十八日入昆沙門堂得
度 同十九年五月四日二品元文
二年二月朔下向尚東同三年三月九
日入職同五年三月十二日一品
宝暦二年隠居号随意院明和
九年九月廿二日再任
三月廿日隠居号随宜樂院往俠
草寺天明八年四月 日迁化

公啓法親王 閑院直仁第二子准母左二門佐
後宮 中御門 女房良啓曼殊
院 右座主 享保十七年
三月十八日生同十九年 九月十二日

髮、置同廿年二月十二日曼殊院入
元文三年五月廿七日隆曾未
同五年三月廿四日辞直　寛保三
年十二月二日親王宣下諱寛義
延享元年十二月廿七日入寺得度十三
宝暦二年八月廿三日入職
明和九年七月十二日遷化号最上
乗院

二品法親王　閑院典仁第三子　母
宝暦十年二月廿七日生　明和九年

七月廿三日附矛同十一月廿七日親王
宣下安永二年八月廿二日改為二尊
法寿附矛同十月廿九日入昆沙門堂
同三年十一月廿七日二品同四年五月
十三日下向洛東　同五年七月十日薨
年十七号清浄信院　但二品ハ不往職

二品延法親王　二品矛　良宮
宝暦十二年十月四日生　明和四年二月
十二日大覚寺附矛　安永二年二
月十三日元服准后附矛同八月廿

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

二日親王宣下諱保業　同七年三
月十八日入寺得度同十一月
叙二品　安永九年三月廿日入滅

神尾一位局　称号阿茶局
甲州武田氏旧臣飯田久左衛門尉
尾張之家妻也　権現様
寛平之時為
宅之局　而庭所
歸依　称阿茶局　同帝之
例ニ　称局　寛仁年中
小石川之邸ニ
寺ト　改称二年
四月十七日　仙洞

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

ガラス使用

[illegible]下ノ[illegible]ヲ[illegible]
[illegible]ヲ度ニ[illegible]ノ一揆ヲ
[illegible]久善提[illegible]ヲ
ノ地ニ下テ[illegible]寺建立
[illegible]千石ニ下ノ[illegible]
[illegible]名雲光院[illegible]
[illegible]

松坂局

又ハ松雲家[illegible]
[illegible]ヲ[illegible]
[illegible]

[illegible]局ハ[illegible]
[illegible]仕ニ千石ノ[illegible]
未ニ月十二日卒ス[illegible]
[illegible]等ス[illegible]

刑部局

[illegible]洋ニ[illegible]
月三日卒大[illegible]
[illegible]
石塔アリ

[illegible]
[illegible]
[illegible]

同訴局
同訴訟ニ付キ貢綱女ヨリ
台徳寺ノ乳母ヲ
廿二日牽キ三真院
門村吉ノ仲ト

書目局
大一冊
成リ書之
功名ヲ

月牛ヲ牽キ藤祥院仁阿了義
陽明新島山藤祥院王澤寺ニ葬ス寺
領二万石

安鳴局
安鳴隼人従清女
厳有院ノ乳母
十二日牽
尼 光照院蘭誉自徳禅定

延宝五年十月

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

ガラス使用

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

ガラス使用

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

ガラス使用

御扶箱		
御文箱	御傘	御傘袋
御床机	御太刀	御太刀
神号幸右筒	白丁十人	白丁十人
御剣	御太刀	
御弓	〃	
御矢	〃	
御長刀	〃	
御鉄炮	〃	
御鑓	〃	
御持鑓	〃	
御立傘	〃	
御笠	〃	
御草履取	〃	
御沓	〃	
御供	御太刀	
御馬	〃	
御口取	〃	
御鞭	〃	
御轡	〃	
御鞍	〃	
御鐙	〃	
御腹帯	〃	
御尻懸	〃	
御沓	〃	
御草履取	〃	
御笠	〃	
御立傘	〃	
御持鑓	〃	
御鑓	〃	
御鉄炮	〃	
御長刀	〃	
御矢	〃	
御弓	〃	
御剣	〃	
御太刀	御傘	御傘袋
御太刀	御文箱	
御太刀	御扶箱	

御太刀	御傘	御傘袋
御太刀	御文箱	
御太刀	御扶箱	
御剣	〃	
御弓	〃	
御矢	〃	
御長刀	〃	
御鉄炮	〃	
御鑓	〃	
御持鑓	〃	
御立傘	〃	
御笠	〃	
御草履取	〃	
御沓	〃	
御馬	御太刀	
御口取	〃	
御鞭	〃	
御轡	〃	
御鞍	〃	
御鐙	〃	
御腹帯	〃	
御尻懸	〃	
御沓	〃	
御草履取	〃	
御笠	〃	
御立傘	〃	
御持鑓	〃	
御鑓	〃	
御鉄炮	〃	
御長刀	〃	
御矢	〃	
御弓	〃	
御剣	〃	
御供	御太刀	
御沓	〃	
御草履取	〃	
御笠	〃	
御立傘	〃	
御持鑓	〃	
御鑓	〃	
御鉄炮	〃	
御長刀	〃	
御矢	〃	
御弓	〃	
御剣	〃	
御太刀	御傘	御傘袋
御太刀	御文箱	
御太刀	御扶箱	

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

ガラス使用

ガラス使用

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

ガラス使用

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

ガラス使用

御留守　稲葉丹後守殿
御名代
御老中　松平伊豆守殿
御若年寄　堀田相模守殿

鳥橋ヨリ云
御使
鳥橋ヨリ云
御書　鳥橋ヨリ云

医師三人
布衣行列
布衣行列

御使　直
御使十人ヲ
御使　直

押
井上河内守殿　従押
井戸対馬守殿　三十作

宮城領守殿
領内和泉守殿
松浦肥前守殿

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

ガラス使用

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

ガラス使用

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

ガラス使用

海辺陸物
捕之者多
打平内紀
多賀郡紀

按押
十人

春者陸ハ捕外浜ヘ
出強勇 素風先
出小舶
白根

一海
二十
五百枚

同 井伊勤屋作ニ而少勇
出強勇備赤七先
出小舶
白根

一海
二十
二百枚

同 井伊春屋ニ而
出小舶

同 井伊千屋ニ而
出小舶

十

十

六

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

ガラス使用

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

ガラス使用

錦

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

ガラス使用

五年五月十八日寂久年四十五五月八日於
今岡山臺アリ才二世照珍和尚飯田三郎二郎
直定ヲ才三世照盧和尚森主膳好顕等
才四世照喜和尚大隅五代照春比丘大隅三太左工門重次等
大隅八筒井ノ臣妻志季好之未也傳香
寺ハ招提寺末ニテ律宗百石也
一天正二年大和国添上郡春日ノ卒川ノ
地ニ筒井家ヨリ一律院ヲ建以泉奘和尚
為開山ヲ傳香寺

武州世田谷
大伝山豪徳寺
真善山勝光院
鶴松山実相院

以上三ヶ寺吉良ノ菩提所ニ大伝山開基
八吉良左京太夫頼氏女也豪徳寺殿
ト号ス過去帳ノ字
弘イ 文明十二年十二月二日
豪徳院之栄理椿和尚
吉良左京大夫頼氏女

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3
ガラス使用

一月岳慧運
泉澤寺領船運云居士
右京大夫賴高賴氏子

文龜二年八月十二日
洞春院照岳通旭居士
右京大夫改忠賴高子

養雲院松岳通摂居士
左兵衛佐成高改忠子

勝光院脫山淨林居士
左兵衛佐賴康成高子

慶長八年九月二日
実相院学翁玄居士
左兵衛尉氏朝賴康子

慶長十四年三月廿七日
耕雲院傑翁宗英居士
左兵衛佐賴久氏朝子改蒔田
又氏朝共拜神君時台命曰吉良
八代冬卅東條西條兩流ノ外不可称号
宜改蒔田者也仍号蒔田

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

ガラス使用

明暦三年三月十四日
東禅院覚蓮宗真居士
左兵衛義祇　頼久子
元禄四年五月廿日
景徳院雲巌宗祥居士
左兵衛義後　義祇子

右吉良家ハ足利義氏二子義継号
吉良四郎右左馬介ニ改ムヨリ亀祖也

以来上総介ヲ経テ氏同介ヲ経テ家左京負家
中務満家ニ治氏治部治家号霊応
寺代ヽ居住奥州基氏ノ時被呼出
賜上総州飽間地住之其子兵部頼治
其子左京太夫頼氏也
頼治兄祖頼ト云アリ武州荏原郡
養江泰陽山東光寺ニ牌アリ法名
瑞陽雲祥云忌日十日トアリ

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

撰集ノ内異名ノ女

古今 龍 大和守源精女 同 屋原信女

同 白女 狂女大江玉剛女 月 三國町

後撰 月 對乃子

おほつの称 株梁女

門 かぢこの命婦

後拾 童未 治部亟茨田重秋女

遺 宮未 狂女 月 源 源秋範女

撰集ニ入武家

羽衣 俺倶廉

新古今 狂女卅

月 狂女利君

新續古今 千載 狂女戸ヲ

あこ 玉葉 町尻ノコ

月 笠女郎

月

そして

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

ガラス使用

上野介源経基
相模守源朝光
陸奥守源頼義家
兵庫頭源仲三
右大将源頼朝
大納言源雅通
大納言源通親
内大臣源雅定

同　行氏
千葉　氏亂
大友　貞宗
松田　貞秀

同　氏教
土佐　光重時
月　師親
伊勢　貞國

新渡　義將
同　氏註
月　棟義
同　頸氏
同　陽元
同　業氏
同　持氏
同　基之
土岐頼康

同　義重
同　義種
細川清氏
同　頼夷
同　和氏
同　頼元
同　持賢
同　持春
同　頼遠

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

ガラス使用

同　光政
佐子定満
同　氏頼
赤松直頼
同　満祐
吉見氏頼
山名氏清
同　満貴

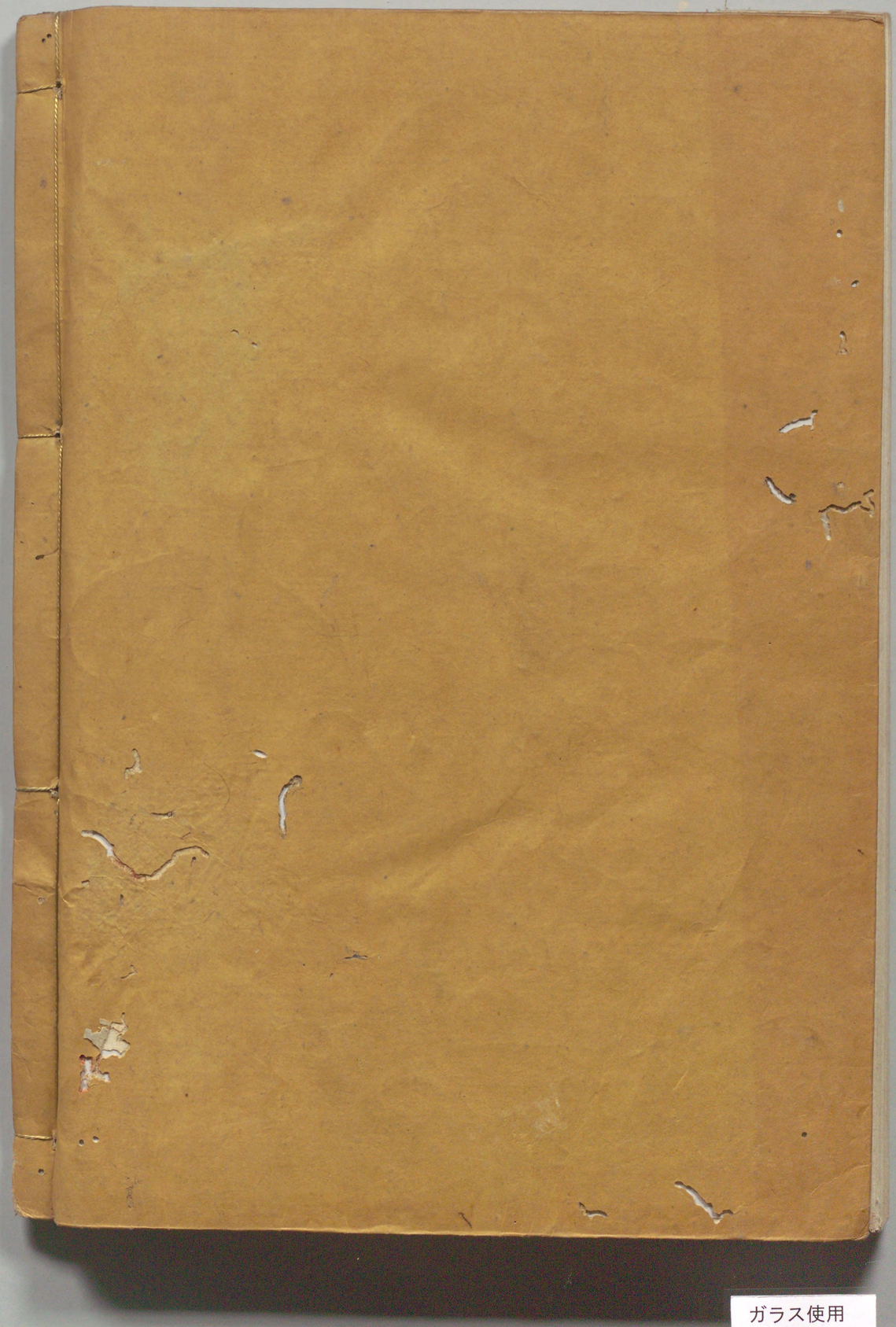
刑部乙忠盛

同　詮直
同　清繩
山田孝朝
赤松義則
同　満政
土岐詮直
同　持熙
桃井詮信

鎮盛

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

ガラス使用



国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

ガラス使用